

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要												
建物名称	N-Village紫竹山新築工事											
建設地	新潟県新潟市中央区紫竹山5丁目441番9他											
用途地域	第一種住居											
建物用途	集合住宅											
竣工年	2022年3月 竣工											
敷地面積	1,891.09 m ²											
建築面積	1,129.20 m ²											
延床面積	2,995.91 m ²											
階数	地上3F											
構造	木造											
評価の段階	実施設計段階評価											
評価の実施日	2021年7月12日											
2. CASBEE新潟の評価結果												
		B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{40.6}{44.3} = 0.9$									
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★												
3. 新潟市の重点項目の評価												
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 3.2		<table border="1"> <tr><td>バリアフリー計画</td><td>Q2.1.1.3</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>維持管理</td><td>Q2.1.3</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>設備の更新性</td><td>Q2.3.3</td><td>3.0</td></tr> </table>	バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0	維持管理	Q2.1.3	3.5	設備の更新性	Q2.3.3	3.0
バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0										
維持管理	Q2.1.3	3.5										
設備の更新性	Q2.3.3	3.0										
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 3.0		<table border="1"> <tr><td>耐震・免震・制震・制振</td><td>Q2.2.1</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>信頼性</td><td>Q2.2.4</td><td>3.0</td></tr> </table>	耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0	信頼性	Q2.2.4	3.0			
耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0										
信頼性	Q2.2.4	3.0										
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 2.0		<table border="1"> <tr><td>雨水排水負荷低減</td><td>LR3.2.3.1</td><td>2.0</td></tr> </table>	雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0						
雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0										
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		<table border="1"> <tr><td>建物外皮の熱負荷抑制</td><td>LR1.1</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>自然エネルギー利用</td><td>LR1.2</td><td>3.0</td></tr> </table>	建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	3.0	自然エネルギー利用	LR1.2	3.0			
建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	3.0										
自然エネルギー利用	LR1.2	3.0										
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 2.3		<table border="1"> <tr><td>節水</td><td>LR2.1.1</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>躯体材料以外でのリサイクル材の使用</td><td>LR2.2.4</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>部材の再利用可能性向上への取組み</td><td>LR2.2.6</td><td>3.0</td></tr> </table>	節水	LR2.1.1	3.0	躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0	部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	3.0
節水	LR2.1.1	3.0										
躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0										
部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	3.0										
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		<table border="1"> <tr><td>生物環境の保全と創出</td><td>Q3.1</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>敷地内温熱環境の向上</td><td>Q3.3.2</td><td>2.0</td></tr> </table>	生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0	敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0			
生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0										
敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0										
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 2.0		<table border="1"> <tr><td>まちなみ・景観への配慮</td><td>Q3.2</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>地域性への配慮、快適性の向上</td><td>Q3.3.1</td><td>2.0</td></tr> </table>	まちなみ・景観への配慮	Q3.2	2.0	地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0			
まちなみ・景観への配慮	Q3.2	2.0										
地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0										
4. 新潟市の重点項目の配慮事項												
新潟のまちなみへの取組み : 外観・色彩に考慮し穏やかな印象を与えるように配慮した												

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	N-Village紫竹山新築工事	階数	地上3F
建設地	新潟県新潟市中央区紫竹山5丁目441番9他	構造	木造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	96人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 竣工	評価の実施日	2021年7月12日
敷地面積	1,891 m ²	作成者	株式会社 国際総合計画
建築面積	1,129 m ²	確認日	2021年7月12日
延床面積	2,996 m ²	確認者	満間 美千代



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 バイパス脇の敷地で近隣には商業施設が立ち並んでいる。I型の配置とし、地盤面より30cm程高くし水害等に備えた。外装は素材感を大切にし、周囲との調和と住民との融和を考慮した設計とする。		その他 周囲に圧迫感を与えない配置とし、外観色に関しても穏やかな色彩を選択した。
Q1 室内環境 各住戸大きな引違い窓を設け、自然採光、換気につとめた。またガラスは複層ガラスとし省エネに配慮した。	Q2 サービス性能 地盤調査により安全な基礎方式を採用した。木造軸組構造で仕口、継手は堅ろうで復元力のある建物とした。床下換気、外壁通気とした。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の環境との調和をはかり、住民に馴染みやすい色調とする。
LR1 エネルギー 照明器具は全てLEDとし、共有部は人感センサーとし消費電力を削減する。	LR2 資源・マテリアル 持続可能な森林から産出される木材を最大限使用する。	LR3 敷地外環境 南北に長いI型配置とし風下となる地域への風のとおり道を確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される